

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	10_群馬県
市区町村名	102075_館林市
自治体区分	

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
102075_館林市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	青少年の体験活動が不足していることにより、児童が将来の夢や職業観を持つことが難しくなることや、様々なことへ挑戦する意欲が乏しいことが課題としてあげられる。また、市内小学校の学校評価においても「児童は、自分の将来の夢や希望をもっていますか。」という指標がある。具体的には、「将来の夢や希望する進路について考え、親子で話し合っている児童の割合(80%)」である。	様々な体験活動を通して、児童の内面に新しい見方や考え方が芽生える。また、大人とのかかわりを通して同様の効果をもたらすことを狙う。	参加児童の保護者を対象にアンケートを実施し、体験をもとに将来の夢や職業観につながる話題が増えるような取り組みとしていく。	事業実施後の保護者アンケート項目「お子さんは家で学校や放課後子ども教室で体験したことについて話すことが増えましたか。」に「そう思う」「まあまあそう思う」と回答した割合	100	%	75	45	昨年度実施したアンケート結果では、「そう思う」「まあまあそう思う」と回答した割合は全体で100%となった。そのため、今年度は「そう思う」と回答した割合について目標値を75%とした。アンケートの結果、「そう思う」と回答した割合は45%となり、目標値を下回る結果となった。この結果を踏まえ、次年度の活動では、参加児童に活動の中で楽しかったことや感じたことなどを家庭で話すよう促し、課題である職業観を持つことや挑戦する意欲を高めることにつなげたい。